

社会福祉法人ぶどうの里 グループホーム山崎荘(共同生活援助)
令和7年度 地域連携推進会議 会議録

開催日時	令和7年11月22日(土) 10:00~12:00
開催場所	グループホーム山崎荘 エクセレントサクラダ B棟共有ルーム
構成員	利用者さん 1名 利用者さんの家族 1名 地域の関係者 3名(区長:1名・民生委員:2名) 市内の他法人グループホームC職員 1名 法人及び職員 3名(法人理事・管理者・世話人)
会議次第	① 自己紹介 ② 地域連携推進会議について ③ 事業所見学 ④ 障害について ⑤ 利用者さんの日常生活の様子 ⑥ 近隣からの苦情等

会議内容

地域連携推進 会議について	山崎荘に集まり、自己紹介をしていただき、グループホームの説明・会議の目的の説明をする。
事業所見学	第1山崎荘、第2山崎荘の説明・見学後、『エクセレントサクラダ』に歩いて移動。『エクセレントサクラダ』の短期入所の居室も見学。 【質疑応答】 Q: 短期入所はどのような理由で利用している人がいるのか? A: 自立に向けて利用する人、重度の方はご家族が外出先に連れていけないので見てほしい、親元ばかりでは甘えて何もしないので自分のことは自分でできるようにしたい、家族関係が良好でないため休むために利用する人など様々 Q: 日頃どのような支援をしていますか? A: 洗濯、食器洗いなど身の回りのことができるように支援している。声かけから始め段階的にできることを増やすことできるようにしている。 Q: 実際、できるようになったのか? A: 洗濯をして干すことができるようになった人もいるが、その日の気分でやったりやらなかったりする人もいる。押しつけはしない。

<p>障害について</p>	<p>山崎荘には知的障害、精神障害を有する利用者さんが生活しており、何名かは重複障害の利用者さんもいる。</p> <p>20歳から76歳の幅広い年齢層の人が入居しており、男性の方が多くなっている。以前は、高齢の利用者さんが多かったが最近は若い利用者さんも増えている。</p> <p>配布資料には障害の特徴と配慮してほしいことが記載してあるので目を通していただき障害について理解してもらえればと思う。障害にかかわらず、入居する利用者さんは純粹で真っ直ぐで素直な人が多い。生まれつきの障害の人もいるが、環境によって障害が大きくなる環境障害の人もいる。兄弟で比較されていて良く見られたいと頑張っている人、一人でいたい人、職員と沢山かかわりたい人など様々となっている。</p>
<p>利用者の日常生活の様子</p>	<p>○ グループホーム・短期入所・法人の紹介</p> <p>山崎荘はグループホームと短期入所の2本柱で運営している。日中の時間は就労継続B型や、一般就労先に通っている人がほとんどで日中は利用者さんが不在のため静かである。休日は、土曜日に出勤している人も複数名いるが、日曜日はほとんどの利用者さんはお休み。通院や買い物は、移動支援サービスで対応している。</p> <p>山崎荘の家賃は、市町村より補助があって約65,000円と障害年金で賄える金額になっている。</p> <p>食事については、ヨシケイが食材を届けるので、職員が調理し提供している。管理栄養士を配置して献立表を作成している。朝食は300円、夕食は600円で提供し、残金は返金している。去年は、物価高騰で返金額が例年より少なかった。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>Q：山崎荘の食事はどうですか？</p> <p>A（利用者さん）：おいしい。</p> <p>Q：グループホームC（他法人）では買い物はどうしているか？</p> <p>A（グループホームC職員さん）：食材は買い物をしている。管理者自ら買い物に出向くこともある。</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の会議にて「地域にグループホームを」という意見も出ている。石川県には、グループホームが地域の中に設置されている。三重県にも新しくできるという話もあるが、地域が点と点ではなく、同じ地域で一緒になって進められればという意見がある。 ・（法人理事より）社会福祉法人ぶどうの里の立ち上げは勝沼授産園で、

2年前に30周年を迎えた。職員は約90名弱在籍している。現在、山梨授産園の建て替えが行われているが、他事業所の建て替えも進めていかなければならない。また、重度のグループホームの設置についても検討していかなければならない。どの事業所も利用者さんの高齢化が問題になっている。

【質疑応答】

Q：介護度が高い人がいる場合や終末期まで見ているのか？

A：ご家族やご本人の希望を優先している。契約書には年齢制限について記載がないため、契約書に年齢制限について記載した方がいいのではないかとは思っている。

Q：高齢者と若者のトラブルはあるのか？

A：正義感で大きな声を出してしまう人もいる。夏祭りの際は、アパートの一般住人の皆さんに迷惑をかけてしまうこともあった。アパートの一般住人との交流が生まれるように引換券を配布した。あまり関わってほしくない利用者さんと関わってほしい利用者さん同士がトラブルになることがある。

○ グループホーム利用者の現状

利用者さんと職員は、毎日顔を合わせるようになっている。利用者さんのなかには毎日お小遣いを渡し、毎週金曜日に1週間で残ったお金を貯金箱に入れて貯金している人もいれば、自己管理をしていて1カ月で7万円使ってしまう人もいる。日常生活自立支援事業（社会福祉協議会の金銭管理サービス）の活用を進めているが、日常生活自立支援事業の利用者が多く、新規で受け入れてもらえないのが現状。

入所した当初は、お小遣い帳の記入やゴミ捨て、掃除ができなかったが20年かけて手取り足取り教えてできるようになった利用者もいる。

○ 一日のタイムスケジュール（食事など）、年間行事

グループホームでは、季節に応じて夏祭りや花見など行事を行っている。一般就労の人が多いため、全員が集まって行事を開催するのが難しい。グループホームは、年末年始も関係ないため初詣に出かけたこともある。年2回防災訓練も実施し、非常電源や非常食も用意している

○ ライフ荘について

	<p>家を失った人、路上生活をしていた人など様々な理由で生活に困窮している方が利用している。NPO法人「やまなしライフサポート」から委託を受け、利用する方々への食事提供と退去後の居室清掃の役割を担っている。食事は、特別に用意するのではなくグループホームと同じメニューを提供している。</p>
<p>近隣からの苦情等</p>	<p>○ 近年あった地域からの苦情</p> <p>アパートの住人の中には、アパートの一角でグループホームが運営されていることを理解して入居している人もいるが実際に入ってみて現状を知る人もいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外で話をしていて、アパートの住民から「うるさい」と言われた。 ・「タバコの煙が臭い。皆で吸っていて階段を登りにくい。」と言われた。タバコはやめる方向で考えている。山崎荘については喫煙する場所を決めている。 ・車のエンジン音が気になり、利用者が車の所有者に暴言を吐いてしまった。 <p>【質疑応答】</p> <p>Q：喫煙者は多いのか？</p> <p>A：利用者さんの中で喫煙者は4名。ライフ荘の利用者さんに喫煙者もいる。</p> <p>Q：以前サクラダの火災報知器が鳴って近所で大騒ぎになっていたが喫煙と関係あるのか？</p> <p>A：約3年前のことだが、火災が起きたのではなかったし、誰かが通報したのでもなく自動火災報知器の故障によるものだった。</p> <p>Q：グループホームC（他法人）では、喫煙についてどのように対応しているのか？</p> <p>A（グループホームC職員さん）：火災のリスク軽減のため電子タバコを推奨している。紙タバコを使用する場合は、グループホーム以外の指定の喫煙所で喫煙するようにしている。</p> <p>Q：最近はないが、夜中にギコギコ自転車の音が気になると近隣住民で話題になっていた。自転車でグルグル回っている人がいて様子を見ていたらサクラダに入っていた。</p> <p>A：利用者さんの多くはいい自転車に乗っているが、2年前まで利用していた利用者さんが古い自転車に乗っており、その方は、一人になるのが不安で夜間飛び出してしまっていた。夜の外出は控えるように話しているが夜勤者や宿直者の巡回の時間を避けて出かけている利用者さんもある。</p>

	<p>【意見】</p> <p>サクラダは、一般住人も住んでいるから大変。建物も反響しやすい構造になっているように感じる。</p> <p>○ 虐待通報の報告</p> <p>室内での喫煙は禁止しているため、該当利用者さんに注意をしたところ、その方が日中の通所先の事業所（他法人）職員に相談をした。その職員さんより援護市に虐待通報が入った。市が調査したが虐待には該当せず、不適切な支援にも当たらないという判断だった。本人のために関係機関と連携していい支援を行っていかなければならないと思っている。</p>
その他	<p>地域の人とコミュニケーションが取れば良いと思っているため、地域の総会があればぜひ参加し、顔見知りにもなればと思っている。</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数年前に区の行事に参加してもらっていたこともある。回覧板で区の行事などが案内されているが回覧順に入っていないので入れたほうが良い。 ・グループホーム C（他法人）では地区の避難訓練に参加し、利用者さんを一人一人紹介した。